

# 奈良県感染症情報

平成 26 年 第 48 週 (11 月 24 日～11 月 30 日)  
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## インフルエンザの流行が始まっています

インフルエンザの定点当たり報告数が、流行開始の目安となる「1」を超えました。今後の流行に備え、①手洗い・うがいの励行、②咳エチケット(マスク)を心がけてください。また、夜更かしはしないなど、体力維持にもご注意ください。

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	7.15	(4.94)	↑	↑	↑	↘
2	インフルエンザ	2.67	(0.87)	↑↑	↑↑	↑↑	↑↑
3	RS ウイルス感染症	1.06	(1.06)	→	→	↗	↗
4	A群溶連菌咽頭炎	1.03	(1.29)	→	→	↗	↓
5	水痘	0.82	(0.74)	↑	↑	→	↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

### ◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの報告数が急増しています。例年、12月中旬に流行始まりとなり、1月から増加してきますが、今年はずでに流行が始まっています。定点当たり報告数では、近畿府県内で奈良県は飛び抜けて多く、今後の流行拡大が懸念されます。特に北部(奈良市・郡山保健所管内)が多く、次いで中部(桜井・葛城保健所管内)で、南部でも例年同時期より多くなっており、県内全体で流行が始まっています。

人が多いところを通った後は、手洗い・うがいを心がけてください。通勤・通学で、学校・職場に着いたときにも、手洗い・うがいの励行をお勧めします。

また、抗インフルエンザ薬の服用で、発熱など症状はすぐに治まりますが、ウイルスは残っており、熱が引いたからと言って外出すると感染を拡大させる(周りにうつす)ことになります。学校保健安全法では「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」は、出席停止の目安とされています。すぐに解熱しても、発症してから5日は外出を控えてください。

このところ、9～14歳の患者が特に多くなっています。徐々に他の年齢へも流行が広がると考えられますので、手洗い・うがい・マスク着用の感染予防を心がけてください。

### ❖ 小児科外来情報 ❖

#### 北部地区(矢追医院)

先々週よりノロウイルスの胃腸炎が保育園の幼児で増加している。症状は1日程度の嘔吐とその後の下痢があるが、例年通り軽症である。インフルエンザが先週より急激に増加した。迅速では全てA型で、症状は発熱と咳がある。こちらも例年通り小学校高学年以上成人に多い。

#### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は増加傾向。まだ急増と言う程でない。  
 インフルエンザは学童に散発程度。現在すべてA型。  
 感染性胃腸炎はノロ様の嘔吐例が多い。ロタはない。  
 A群溶連菌感染症が流行中。その他水痘が少し。

#### 南部地区(県立五條病院小児科)

胃腸炎は多いが、例年ほど増えてはいない。長引く咳・鼻汁も重症は少ない。  
 インフルエンザは散発しているが急増する様子はまだない。  
 保育所での水痘の流行は続いている。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 48 週 11 月 24 日 ~ 30 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	2	3		
インフルエンザ	144 (2.67)	46 (4.18)	55 (3.44)	26 (2.36)	12 (1.09)	1 (0.50)	4 (1.33)	
小児科定点数	35	7	10	7	7	2		
RSウイルス感染症	36 (1.06)	12 (1.71)	5 (0.50)	12 (1.71)	6 (0.86)		1 (0.50)	
咽頭結膜熱	9 (0.26)	3 (0.43)	2 (0.20)		4 (0.57)			
A群溶連菌咽頭炎	35 (1.03)	8 (1.14)	11 (1.10)	10 (1.43)	6 (0.86)			
感染性胃腸炎	243 (7.15)	44 (6.29)	94 (9.40)	43 (6.14)	58 (8.29)	2 (2.00)	2 (1.00)	
水痘	28 (0.82)	3 (0.43)	12 (1.20)	5 (0.71)	2 (0.29)	1 (1.00)	5 (2.50)	
手足口病	18 (0.53)	3 (0.43)	11 (1.10)		2 (0.29)		2 (1.00)	
伝染性紅斑								
突発性発しん	7 (0.21)	4 (0.57)	1 (0.10)	2 (0.29)				
百日咳								
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	4 (0.12)	1 (0.14)		1 (0.14)	1 (0.14)	1 (1.00)		
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	16 (1.78)	2 (2.00)	12 (4.00)	2 (1.00)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市1、郡山2、葛城1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(葛城1)
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(内吉野1) 水痘(入院例)1件(奈良市1)

❖ 第 48 週のトピックス ❖

国内の野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されました(厚生労働省)  
(日頃から、衰弱又は死亡した野鳥やその糞便に直接触らない、もし触った場合は速やかに手洗いをする、など注意してください。)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000066939.html>

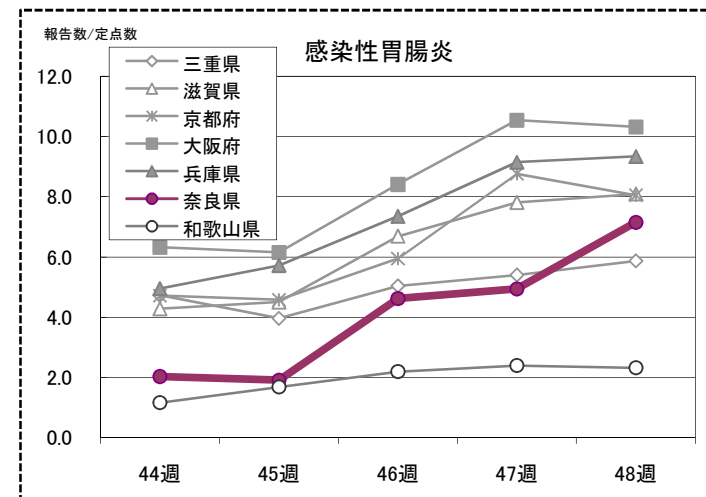
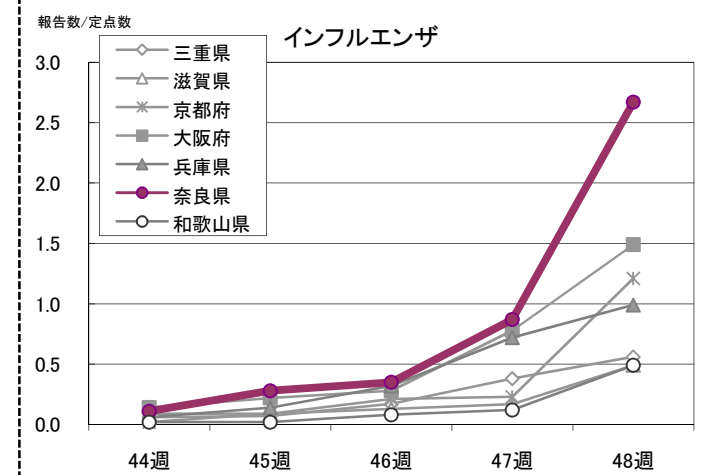
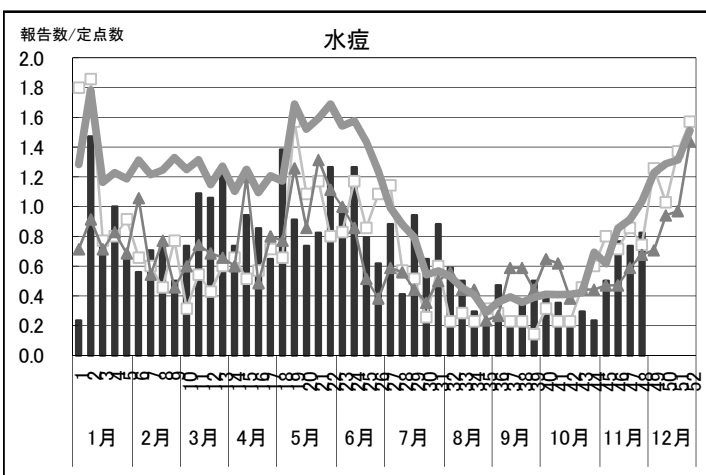
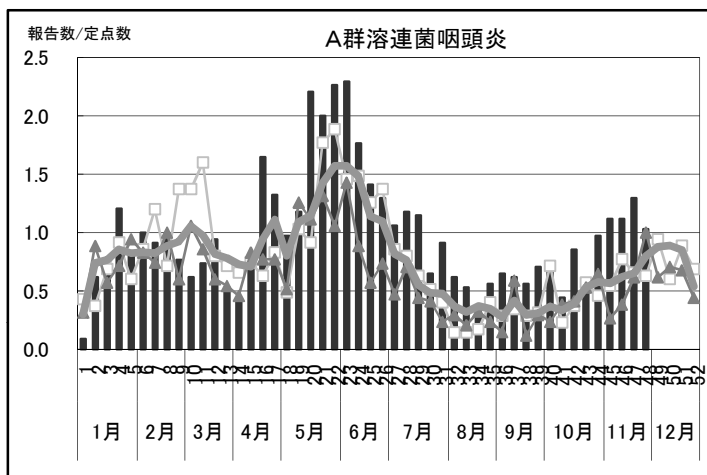
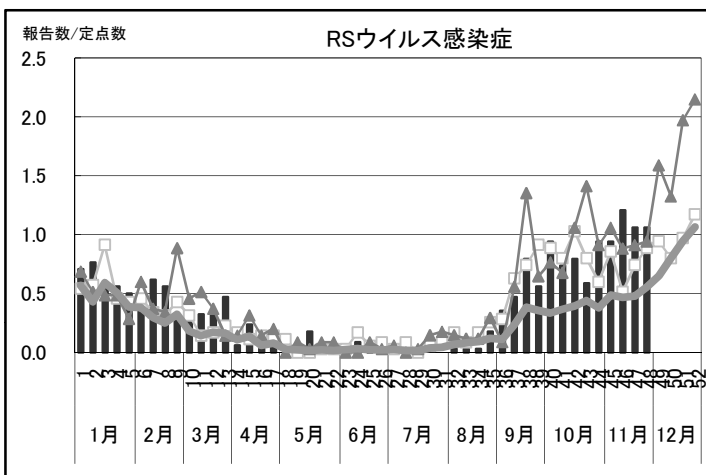
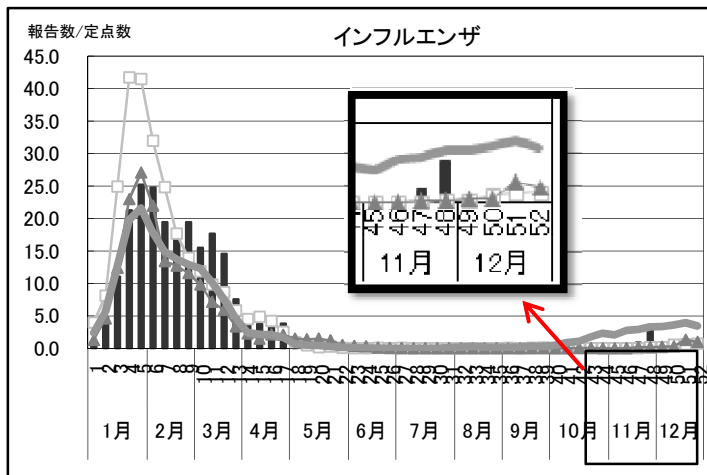
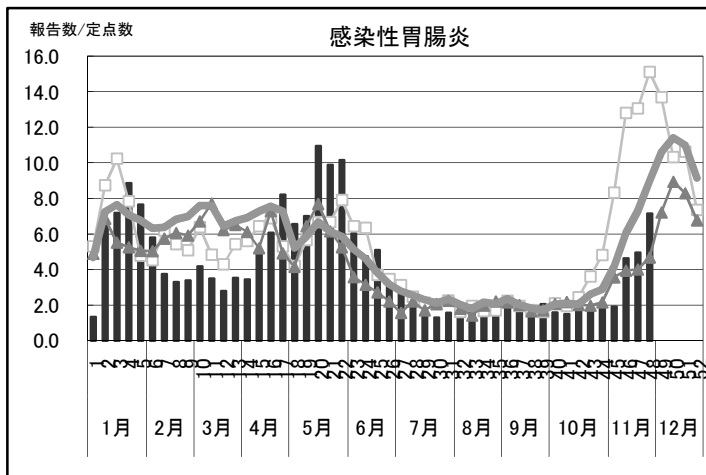
上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男			1	1		3	5	2	4	1	5	36	8	3	2	1	1	1			74	6096
	女			1		2	4	5	3	6		10	22	3	1	7	3	3				70	6104
RSウイルス感染症	男	2	2	4	5	2	1															16	318
	女	1	4	9	4	2																20	298
咽頭結膜熱	男			1	1				2													4	498
	女		1	1	1	1	1															5	410
A群溶連菌咽頭炎	男			1			4	4	8	4	1	1	2									25	836
	女				1	1	2	1	2		1		2									10	760
感染性胃腸炎	男	2	11	21	19	15	13	7	3	6	4	5	5	4	9							124	3572
	女		4	14	9	8	14	10	9	2	5	5	6	2	31							119	3234
水痘	男		2	2	1	3	5			1	1		1									16	628
	女			2	1	2		3			1	2	1									12	528
手足口病	男		1	3	1	3	1		1		1	1										12	171
	女				3	2		1														6	136
伝染性紅斑	男																						67
	女																						54
突発性発しん	男			3	2																	5	312
	女				2																	2	258
百日咳	男																						1
	女																						1
ヘルパンギーナ	男																						671
	女																						600
流行性耳下腺炎	男						1	1				1										1	105
	女																					3	100
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男			1	1		1	1						1			1				1	8	95
	女						2	1							2	1			2			8	119
細菌性髄膜炎	男																						6
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						5
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男																						5
	女																						5
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						18
	女																						18

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〰 過去10年平均



※インフルエンザの過去10年平均には、平成21年(2009年)の新型インフルエンザの大流行も含んでおり、一般的な季節型インフルエンザの流行としては、H24・25を参考にしてください。